

研究者プロフィール

一般科目 (文科系) Dept. of Liberal Arts (Humanities and Social Science)

—運動生理学 Exercise Physiology —

赤塚 康介 AKATSUKA Kosuke

研究業績 (論文・著書・その他の活動)



- [1] Mismatch responses related to temporal discrimination of somatosensory stimulation. (Clinical Neurophysiology 2005)
- [2] Objective examination for two-point stimulation using somatosensory mismatch task: An MEG study. (Clinical Neurophysiology 2007)
- [3] The effect of stimulus probability on the somatosensory mismatch field. (Experimental Brain Research 2007)
- [4] Neural codes for somatosensory two-point discrimination in inferior parietal lobule: An fMRI study. (NeuroImage 2008)

激しい運動を行うと、末梢レベルでの疲労の影響が顕著に現れてきます。これと同様に、中枢神経系においても疲労の影響が現れてきます。神経レベルでとらえると、経頭蓋磁気刺激による運動誘発電位の振幅の低下などが挙げられます。また、認知レベルでとらえると事象関連電位の潜時の遅延や作業効率の低下などが挙げられます。しかし、疲労によって生体にどのような影響が現れてくるのかについて、まだまだ分かっていないのが現状です。特に、体性感覚や視覚、聴覚といった各感覚に対する疲労の影響というものはほとんど分かっていません。現在、体性感覚系に注目して運動による疲労が生体に及ぼす影響について研究活動を行っています。

研究分野キーワード

運動生理学, 神経生理学, 疲労, 体性感覚